

第 21 期 決 算 公 告

広島県広島市南区宇品神田二丁目 9 番 4 号
株式会社ビー・スマイル
代表取締役 下満 滋

貸 借 対 照 表

(2022 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	27,221	流動負債	58,432
現金及び預金	1,255	一年以内返済関係会社長期借入金	5,040
売掛金	25,843	一年以内短期リース債務	840
前払費用	122	預り金	933
		未払費用	3,715
		未払法人税等	182
		関係会社短期債務	499
固定資産	98,869	関係会社短期借入金	43,199
有形固定資産	95,242	賞与引当金	4,020
建物	142,315		
建物付属設備	88,236	固定負債	13,925
構築物	5,414	関係会社長期借入金	2,120
工具器具備品	1,175	長期リース債務	2,733
減価償却累計額	▲141,899	預り敷金	9,072
無形固定資産	3,318		
ソフトウェア	3,904	負 債 合 計	72,357
減価償却累計額	▲585	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	308	株主資本	53,733
長期前払費用	264	資 本 金	75,000
その他投資	44	資本剰余金	25,000
		資本準備金	25,000
		利益剰余金	▲46,266
		その他利益剰余金	▲46,266
		繰越利益剰余金	▲46,266
		純 資 産 合 計	53,733
資産合計	126,091	負債・純資産合計	126,091

個 別 注 記 表

2021 年 4 月 1 日から

2022 年 3 月 31 日まで

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

法人税法の規定による定率法（ただし、1998 年 4 月 1 日以降取得の建物〔建物付属設備を除く〕および 2016 年 4 月 1 日以降取得の建物付属設備、構築物については定額法）を採用しております。

(2) 無形固定資産（リース資産）

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

2. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期において負担すべき額を計上しております。

3. 収益および費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に高齢者サービスの提供によるものであり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。当該履行義務は、商品又は製品を引き渡す一時点において、顧客が当該商品又は製品に対する支配を獲得して充足されると判断し、引き渡し時点で収益を認識しております。

II. 会計方針の変更に関する注記

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、当事業年度において、計算書類に与える影響はありません。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日）等を当事業年度の期首から適用し、当該会計基準第 19 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当事業年度において、計算書類に与える影響はありません。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式数

普通株式 2,000 株

IV. 当期純損益金額

当期純損失 6,984 千円

V. その他の注記

1. 各計算書類の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。